

研究用試薬

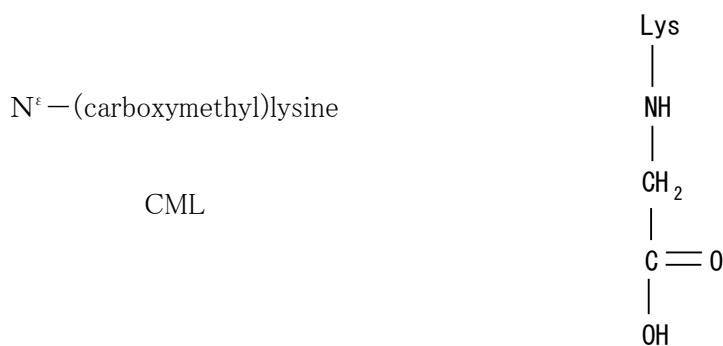
Advanced Glycation End Products (AGEs)
抗 CML モノクローナル抗体(Clone No. NF-1G)
Biotin conjugated

AGEs(Advanced Glycation End Products)は、タンパク質の非酵素的糖付加反応(メイラード反応)により、シップ塩基、アマドリ転移生成物(前期生成物)を経由し、脱水、酸化、縮合などの複雑な反応を受けて形成される最終生成物です。AGEsは、蛍光・褐色・分子架橋形成などの特徴の他、AGEs受容体により認識されるという生化学的特性を有しています。近年の抗AGEs抗体による解析の結果、(1)ヒト水晶体(加齢に伴う増加)、(2)糖尿病性腎症や慢性腎不全の患者の腎近位尿細管、(3)糖尿病患者の網膜、(4)糖尿病性神経障害患者の末梢神経、(5)粥状動脈硬化病変部、(6)透析性アミロイドーシスの β -マイクログロブリン、(7)アルツハイマー病患者の老人斑、(8)CAPD患者の腹膜、(9)弾力線維症の皮膚のエラスチン、(10)セロイド/リポフスチンなどにAGEsが蓄積することが分かってきました。これらの知見は、老化自体や老化に伴う慢性疾患にAGEsが深く関与していることを示唆しています。

CMLは生体における主要な抗原性AGEs構造体であることが報告されており、メイラード反応の中間体であるアマドリ転位物の酸化によって生成します。さらに、CMLはグルコースの自動酸化及び不飽和脂肪酸の酸化から、グリオキサールを介して生成する経路も報告されています。

本抗体はCMLに特異的なモノクローナル抗体であり、病理組織におけるCMLの局在解析に有用です。

容量	50 μ g (200 μ L/vial)
形状	マウスモノクローナル抗体 Biotin 標識 0.25mg/mL、凍結品
バッファー	PBS [2%ブロックエース(安定化蛋白)、0.1%proclin 含有]
保管方法	−20°C以下 抗体を低濃度にて冷蔵保管されると、失活する恐れがあります。 融解後は4°Cで保存し、お早めにご使用下さい。 凍結融解を繰り返すことは避けて下さい。
クローン番号	NF-1G
サブクラス	IgG2a
製造方法	CML-HSAで免疫したBALB/cマウスの脾臓細胞とマウスミエローマP3U1を融合して得たハイブリドーマをBALB/cマウス腹腔内で増殖させ、腹水を採取。 採取した腹水よりProtein Gアフィニティカラムにて精製、標識。
使用濃度	組織染色: 3~10 μ g/mL





Advanced Glycation End Products (AGEs)
抗 CML モノクローナル抗体(Clone No. NF-1G)
Biotin conjugated

【参考文献】

1. Dunn JA, Patrick JS, Thorpe SR, Baynes JW (1989): Oxidation of glycated proteins: Age-dependent accumulation of N^ε-(carboxymethyl) lysine in lens proteins. *Biochemistry* 28: 9464-9468.
2. Fu MX, Requena JR, Jenkins AJ, Lions TJ, Baynes JW, Thorpe SR(1996): The advanced glycation end product, N ε -(carboxymethyl) lysine, is a product of both lipid peroxidation and glycoxidation reactions. *J.Biol.Chem.*271: 9982-9986

* 参考文献はCMLの概要であり、本抗体使用例ではありません。

製造販売元

MCP 医化学創薬株式会社

神戸研究所

〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 7-1-14

TEL: 078-945-7075 FAX: 078-306-0694

URL:<https://soyaku.co.jp> tech-kobe@soyaku.co.jp

旧製造販売元

株式会社トランスジェニック